

## 第28回与謝野町地域公共交通会議 会議報告書

■日 時 令和元年5月20日(月) 午後2時から3時40分まで

■場 所 岩滝保健センター 2階 会議室

### ■出席者

山添 藤真	岩崎 靖彦	糸井 和之	山村 義信	笹岡 洋一
小西 正芳	矢野 幸子	渋谷 卓司	佐賀 義之	角 茂一
嶋本 卓男	阪口 孝二	村上 章	吉田 達雄	小池 大介
田辺 茂雄				

### ■代理出席者

小寺 睦男	四方 昇	中川 世士
-------	------	-------

### ■欠席者

小塚 敏郎	井隼 雄一
-------	-------

### ■事務局

小谷 企財補佐	成毛 企財係長	本田 企財主事
---------	---------	---------

### 会議の要点

- 地域間幹線系統の見直し案について承認。
  - ・与謝線の福知山市までの運行数を朝昼夕6便に増とし、運賃については天橋立ケーブル下から与謝までは現行どおり。与謝から福知山市内についてはキロ運賃のため丹後海陸交通株式会社で調整。
- コミュニティバスひまわりのフリー乗降区間の廃止について承認。
- 平成30年度の200円レール利用実績、高齢者運転免許証自主返納事業の利用実績、丹海バスとクアハウス岩滝の提携事業の利用実績について報告。
- 社会実験「マルチ交通」について実績報告。

### ■会議内容

#### 1. 開会

配付資料の確認、出席状況の報告

会長あいさつ(割愛)

#### 2. 設置目的

資料1、当日配布資料①について事務局から説明。

#### 3. 議事

##### (1) 副会長の選出

地域住民代表として、町営バスの主な運行地域でもある加悦地域の山村義信後野区長に就任いただいた。

##### (2) 地域間幹線系統(丹海バス路線)の見直しについて

###### 【概要】

○資料2-1、資料2-2に基づき事務局から説明。

- 資料2-1のとおり、与謝線・福知山線の再編案について提案。
  - ▷前回（第27回地域公共交通会議）から変更となった部分を主に説明。国の補助金給付要綱を満たすために再編が必要となり、与謝線と福知山線を一本化することで案を作成し議論を重ねてきた。変更点として、与謝から福知山市への便を朝夕のそれぞれ1往復（計4便）を市内に通う高校生の昼での下校を想定し、昼の1往復も追加した計6便で再編案を提示。市町の実質負担分については丹後海陸交通株式会社にて試算中であり、表の数字は便数が1.5倍となったため、負担額も1.5倍した金額を記載。
  - ▷再編後の与謝線についても12便の運行数の内訳として、4便ではなく6便を新福知山線と接続に修正。
  - ▷運賃について与謝線は現行どおり、新福知山線はキロ運賃となるため、丹後海陸交通株式会社で調整中。
- 資料2-2のとおり、与謝野町に関係する主な路線：伊根線、蒲入線、経ヶ岬線、峰山線、病院線の再編案について説明。特に病院線においては与謝野町内にある京丹後大宮駅～行く竹簡、農協前～石川区間においてフリー乗降区間の廃止となることを確認。

### (3) 地域間幹線系統に接続する地域内交通の見直しについて

#### 【概要】

- 資料3-1、参考資料、3-2、3-3に基づき事務局から説明。
- コミュニティバスひまわりの平成30年度実績報告、令和元年度10月よりフリー乗降区間の廃止、生活交通確保維持改善計画「地域内フィーダー系統確保維持計画」の申請内容について提案および議論。
  - ▷資料3-1、参考資料について、コミュニティバスひまわりの概要を説明し、平成30年度の実績を報告。また、4月より運行日が週3日（奥滝線：月水金、加悦奥・石川線：火木土）を週2日（奥滝線：火金、加悦奥・石川線：水土）に変更となったため、4月分の利用実績を報告。
  - ▷資料3-2において、乗車予定者とバス運転手の間で乗車の意思疎通で祖語が生じ、乗れなかったという利用者の声や、運転中の安全面の向上等を図るため、丹海バスにおけるフリー乗降区間の廃止に合わせ、町営バスにおいても廃止を提案。丹海バスからはフリー乗車においては極めて限定的な方が利用とのことで影響は少ないとのこと。
  - ▷資料3-3について、事務局から令和2年度から令和4年度までの計画案を提案。
  - ▷2.（1）事業目標について、従来は過去3年間の平均値を目標にしていたが、平成31年4月より運行日が週3日から週2日に変更したことを受け、利用者数、年間運賃収入額は昨年度実績を目標値として設定。
  - ▷表1について表内「接続する補助対象地域間幹線系統等との接続確保策」欄の地域間幹線系統「与謝線・福知山線」と停留所共有および近接に記載されている「福知山線」を削除。
  - ▷表5について国庫補助上限額の算定式は昨年度の計算式が入っている。国土交通省から今年度の算定式はまだ通知されておらず、通知され次第更新し、委員へお諮りする。
  - ▷表5について交通不便地域の人口を平成31年3月末の数字（21,573人）に修正。
- ※交通不便地域について、近畿運輸局岩崎首席運輸企画専門官に確認したところ、数字は最新の国勢調査の数値を記載（21,834人）で間違いないため、国庫補助上限額の算定式を更新する際に、数字に間違いない旨、再度説明が必要。

### (4) 平成30年度福祉有償運送事業実績について（報告）

#### 【概要】

- 資料4に基づき佐賀委員から報告。
  - ▷平成30年度利用登録者数は3月末現在で246人、前年同月比15人の減となっており、延利用者数は2,015人で前年度比459人の減。運行キロ数は32,179人/kmとなり、前年度の37,550人/kmに比べて約5,000人/kmの減となっている。
  - ▷常時1人は当日送迎しており、支所ごとで2～3人で回している状況であり、全8人で運営中。運転前にアルコールチェックを呼気、問診でチェックを行うことを続けており、これまでチェックに引っかかった人はいない。運転手の年齢は72歳（誕生月の月まで）までお世話になっており、現在は67～68歳くらいの方々にお世話になっている。

- ▷平成 29 年度に比べて平成 30 年度の実績が減っている理由として、高齢な方にご利用いただいているが、昨年は多くの方が亡くなられたことにより、利用が減。バス停留所まで歩くことが困難な方を対象としており、利用が減少したことから事業を止めることにはならない。

#### (4) その他

- 当日配布資料②**、**当日配布資料③**を事務局から説明。
  - ▷平成 30 年度丹鉄高齢者片道 200 円レール実績について、累計利用実績は 25,308 人となった。単年度の利用で見ると、平成 30 年度は 4,142 人であり、平成 24 年度から実施以来、初めて 4,000 人を超える利用となり定着してきていることが分かる。今年度も引き続き事業を実施する。
  - ▷平成 30 年度高齢者運転免許証自主返納事業実績について、平成 30 年度は 87 人が利用し、過去最高の利用となっている。内訳では日交タクシー利用券 (20,000 円分) が 53 人で一番利用が多く、丹海バス回数券 (20,000 円分) の交付が 31 人と二番目に利用が多くなっている。
  - ▷平成 30 年度丹海バスとクアハウス岩滝の連携事業実績について、平成 30 年度は 464 件の利用があり、平成 28 年度の 627 件、平成 29 年度の 506 件から年々減少している。クアハウス岩滝が施設の老朽化のため改修工事を予定しており、8 月に休館を予定。したがって、利用チケットの配布は 6 月 30 日まで、チケットの有効期限は 7 月 31 日までとし、事業は一度休止扱いとなり、営業再開後、どのような扱いとなるかは今後丹後海陸交通株式会社とクアハウス岩滝において検討。
- 平成 30 年度マルチ交通利用実績について、事務局から説明。
  - ▷旅客と生活支援サービスのメニューがあり、平成 31 年 2 月 25 日～3 月 17 日の 21 日間野田川地域と加悦地域の一部を範囲として実施。
  - ▷利用実績として、旅客が 9 件 (利用者は 22 人)、生活支援サービスが 0 件。年齢は 60 代以上の方が利用しており、利用時間帯は 10 時から 19 時まで各時間帯 1～2 件程度。利用目的は買い物 6 件と通院利用が 1 件、趣味・習い事・レジャーが 2 件。
  - ▷ヒアリング調査を実施し、日交タクシー、石川区・石川区民生児童委員、与謝野町役場社会福祉協議会、NPO 法人岩屋熱気球、石川診療所から聞き取った意見を抜粋し報告。
  - ▷利用が 9 件と少ないため、マルチ交通事業の評価が難しい。少なかった理由を分析。広報期間、実施期間が短く、定着するまでの時間がなかったこと。旅客利用の「2 人以上」という条件がネックとなったと思われる。生活利用サービスについては、すでに他の事業者がサポートしていることから利用が少なかったと思われる。
  - ▷今後については実態を把握できていないが、地域の移動手段を確保することが必要だが、ひとつの方法だけで全体をカバーすることは難しい。丹海バス、町営バスなど色々な手段でカバーし、乗り物を組み合わせることで、公共交通ネットワークを形成し、委員の皆様からご意見をいただきたい。
- 近畿運輸局岩崎首席運輸企画専門官より、町営バスひまわりが車両の対応年数がなくなるかもしれない。後手にまわる地域も多い中、先手を打つ必要があることと、運転免許自主返納後の各公共交通利用券を使い切った後の補助を考えないと運転免許の自主返納は進まない。
- 次回会議については年度内にもう一度開催、時期は未定。

#### 4. 閉会